



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヤマシナ  
コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 直 樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 森嶋 誠一

TEL 075-591-2131

四半期報告書提出予定日 平成22年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,681	22.0	101	—	115	—	123	—
22年3月期第2四半期	2,197	△30.8	△126	—	△120	—	△126	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	0.89	—
22年3月期第2四半期	△0.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	11,278	8,608	76.3	61.87
22年3月期	11,021	8,484	77.0	60.97

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,608百万円 22年3月期 8,484百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.50	0.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	9.6	130	150.7	150	112.5	140	156.0	1.01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 143,611,765株 22年3月期 143,611,765株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 4,461,324株 22年3月期 4,461,323株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 139,150,442株 22年3月期2Q 139,153,964株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
【第2四半期連結累計期間】 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に厳しい状況が続くものの、景気は引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられましたが、このところ足踏み状態となっており、先行きについても、為替レート・株価の変動等により、景気が下押しされるリスクが強まっており、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念もあわせ、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当グループにおきましては、受注の回復に努めた結果、売上高は2,681百万円（前年同四半期比22.0%増）と好調に推移しました。また、徹底したコスト削減と生産効率の向上に取り組み続けたことにより、収益面で大幅に改善が進み、営業利益は101百万円（前年同四半期は営業損失126百万円）、経常利益は115百万円（前年同四半期は経常損失120百万円）、四半期純利益は123百万円（前年同四半期は四半期純損失126百万円）とそれぞれ増益になりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (金属製品事業)

主要取引先である自動車業界のエコカー補助、新興国需要の回復等による業績伸張を受け、売上高が好調に推移したことに加え、生産性の向上や固定費の削減等に努めたことにより、収益面でも好調に推移いたしました。

その結果、売上高は1,649百万円（前年同四半期比23.9%増）、営業利益は146百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）となりました。

#### (電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業においても、景気回復に伴う受注高の回復により売上高が好調に推移いたしました。また、原価率の改善にも注力した結果、利益面でも改善しております。

その結果、売上高は918百万円（前年同四半期比27.7%増）、営業利益は38百万円（前年同四半期は営業損失22百万円）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業につきましては、賃貸市況は都心部で回復の動きがみられるものの、全体的に悪化傾向であり、当グループとしても安定した賃貸収入を確保するため、稼働率の向上に努めるとともに、継続的に賃貸用物件の見直しを行っております。

その結果、売上高は111百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益は70百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業においては、株式会社J-net レンタリース京都が自動車賃貸事業から撤退したことにより売上高は減少しておりますが、株式会社Y'sアセットマネジメント（投資事業）におきましては、引き続き投資効率の最適化に注力いたしました。

その結果、売上高は2百万円（前年同四半期比92.4%減）、営業損失は0.8百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、4,567百万円となりました。これは、受取手形が121百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、6,710百万円となりました。これは、建物221百万円、投資有価証券107百万円がそれぞれ増加し、土地が147百万円減少したこと等によるものであります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、995百万円となりました。これは、短期借入金が104百万円増加し、買掛金43百万円、未払消費税等39百万円がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8.0%増加し、1,673百万円となりました。これは、長期借入金が142百万円増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、8,608百万円となりました。これは、利益剰余金が123百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成22年10月25日に上方修正の予想を公表しておりますが、通期の業績予想に関しては変更しておりません。

詳細につきましては、平成22年10月25日公表の「業績予想の修正（上方）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,771,681	1,844,631
受取手形及び売掛金	1,552,399	1,428,882
商品及び製品	507,188	514,826
仕掛品	190,762	197,527
原材料及び貯蔵品	435,982	407,691
その他	109,911	54,311
流動資産合計	4,567,925	4,447,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,401,723	1,188,291
土地	4,281,549	4,429,171
その他(純額)	639,766	611,658
有形固定資産合計	6,323,039	6,229,121
無形固定資産		
その他	92,006	107,714
無形固定資産合計	92,006	107,714
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,829,795	1,829,795
その他	346,930	288,900
貸倒引当金	△1,881,545	△1,881,545
投資その他の資産合計	295,180	237,150
固定資産合計	6,710,226	6,573,986
資産合計	11,278,151	11,021,856
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	432,350	466,900
短期借入金	384,168	279,378
未払法人税等	14,611	20,431
賞与引当金	16,110	11,886
その他	148,645	208,702
流動負債合計	995,887	987,297
固定負債		
長期借入金	233,405	90,622
退職給付引当金	273,581	296,793
偶発損失引当金	5,945	6,880
その他	1,160,608	1,155,655
固定負債合計	1,673,541	1,549,950
負債合計	2,669,428	2,537,248

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,900,400	3,900,400
資本剰余金	2,882,058	2,882,058
利益剰余金	662,398	538,618
自己株式	△131,718	△131,718
株主資本合計	7,313,138	7,189,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,017	△1,353
土地再評価差額金	1,296,602	1,296,602
評価・換算差額等合計	1,295,584	1,295,249
純資産合計	8,608,723	8,484,607
負債純資産合計	11,278,151	11,021,856

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,197,815	2,681,935
売上原価	1,889,226	2,138,794
売上総利益	308,589	543,141
販売費及び一般管理費	435,314	442,077
営業利益又は営業損失(△)	△126,725	101,063
営業外収益		
受取利息	—	4,889
受取配当金	—	160
助成金収入	3,384	10,952
その他	11,775	8,625
営業外収益合計	15,159	24,627
営業外費用		
支払利息	3,218	7,728
貸貸収入原価	1,791	—
出資金運用損	2,022	—
その他	1,486	2,704
営業外費用合計	8,518	10,433
経常利益又は経常損失(△)	△120,083	115,258
特別利益		
固定資産売却益	—	13,854
貸倒引当金戻入額	4,724	—
退職給付引当金戻入額	—	35,739
その他	42	—
特別利益合計	4,766	49,594
特別損失		
固定資産売却損	—	128
出資金評価損	—	30,166
固定資産除却損	2,888	—
減損損失	3,464	—
その他	33	5,697
特別損失合計	6,387	35,992
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△121,704	128,860
法人税、住民税及び事業税	5,081	5,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,785	123,779

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）  
該当事項はありません。